

HPVワクチンの接種について～受けていない方はお早めに～

子宮頸がんは多くの女性が一生に1回は感染し、また何回も感染を繰り返すことが珍しくないハイリスク HPV の感染によって起こります。子宮頸がん予防ワクチンは感染を防止することによってがんになるリスクを性交経験前なら 80 ～ 90%、性交経験後でも約半分と大幅な低下が見込まれますので、世界中で接種され、男性にも接種している国もあります。このワクチンは年齢によって2回または3回接種します。3回の場合は自費では計 8～9万円かかりますが、小6～高1までは定期接種ワクチンとして無料で受けられます。また平成9年4月2日～平成 20 年4月1日生まれ的女性は令和 7 年 3 月まではキャッチアップ接種として無料で受けられます。接種完了まで 6 か月かかりますので 1 回目接種を 9 月末までに受けないと 3 回目の接種が令和7年 3 月を超え、その分は自費になります。

ワクチン接種部位の発赤や腫脹が生じることもありますが、通常短期間で軽快します。以前報道された接種後の身体の痛みや歩行障害等々の多様な症状は名古屋市内で行われた 24 の症状についての約 3 万人を対象とした大規模な調査で因果関係は証明されませんでした。また外国では副反応騒動は起こっていません。

なおこのワクチンはすべての種類のハイリスク HPV の感染を防止できる訳ではありませんので大人になったら子宮頸がん検診は必ず定期的に受けてください。

平成9年4/2～平成20年4/1生まれの女性で接種機会を逃した方は、令和7年3月31日まで公費で接種できます。まだ1回も接種していない場合、令和6年9月までに接種を開始する必要がありますので、早めに受けてください。詳しくは保健事業だよりをご覧ください。



医療法人船内クリニック院長 船内 洋司先生、副院長 船内 祐樹先生、医療法人平成会平松産婦人科クリニック院長 平松 恵三先生に寄稿いただきました。

知ろう学ぼう人権

犯罪被害者を理解し、寄り添うために

もしも、自分自身や周囲の人が犯罪被害に遭ってしまったら…。交通犯罪、性犯罪、傷害などによる被害に遭う可能性は誰にでもあります。被害を受けた人やその家族は、精神的ショックや経済的困窮だけでなく心身に変調が現れることが多く、その現れ方は、時間の経過や環境の変化により様々で人によっても異なります。

また、犯罪などの被害を受けたことが周囲に知られると、心ないうわさ話などが犯罪被害者等の負担になることがあります。

「頑張つて」や「早く忘れなさい」のような言葉や行爲は、周りの人にとっては慰めや励ましのつもりでも、被害者にとっては逆効果になることもあります。

心理面への影響

- ・感覚や感情が麻痺する
- ・現実だという感覚がない
- ・自分が自分でないと感じる
- ・記憶力、判断力の低下
- ・自己評価の低下
- ・他人や社会に対する信頼感の喪失

- ・恐怖感、不安感、自責感、無力感、絶望感、孤独感、疎外感、屈辱感、怒り、悲しみなどを抱く など

身体面への影響

- ・めまい、過呼吸、動悸、下痢、便秘
- ・不眠、悪夢
- ・吐き気、食欲不振 など

(※警察庁ホームページより参照)
犯罪被害者やその家族が、日常生活を取り戻すには、周囲の人たちが、被害状況を理解し、被害者に配慮した対応を心がけることが大切です。

■大阪被害者支援アドボカシーセンターでは、犯罪被害に遭われた方への相談、付き添いなどの支援を行っています。

相談電話

☎06・6774・6365
(月～金曜日「祝日、年末年始を除く」10時～16時)

秘密は厳守します。相談・支援はすべて無料です。

問合先 認定NPO法人 大阪被害者支援アドボカシーセンター
☎06・6774・6365



問合先 協働人権課人権推進担当(1階④番窓口) ☎939・1059

藤井寺保健所からのお知らせ

藤井寺保健所(藤井寺1-8-36)
☎955・4181 ☎939・6479

HIV・梅毒即日検査 [予約不要]
【梅毒検査は、HIV検査と同時に行う場合は無料】[匿名可] 第2・3水曜日 9:30～10:30
※夜間、土・日曜日の検査は、chot CAST(チョットキャスト)で実施。詳しくはお問い合わせください。

こころの健康相談 ㊦
こころの病気、アルコール依存症などの相談に、精神保健福祉相談員、精神科医などが応じます。

医療機関に関する相談
毎週月～金曜日 9:15～12:15、13:00～16:00

藤井寺保健所 生活衛生室
☎952・6165

水質検査(飲用水・井戸水・遊泳場水・浴場水)㊦ ㊦
依頼の際はお問い合わせください。

腸内細菌検査(赤痢菌、チフス菌、パラチフス A 菌、サルモネラ属菌、腸管出血性大腸菌 O157) ㊦
毎週月～水曜日 9:30～12:00

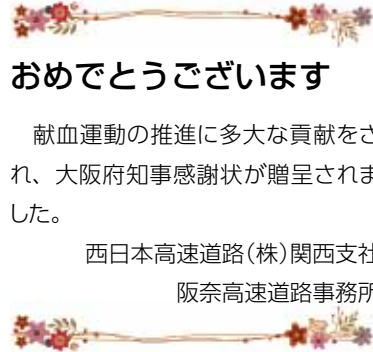
ぎょう虫卵検査 ㊦ ㊦
毎週月～木曜日 9:30～12:00

㊦:要予約 ㊦:有料

※祝日は受け付けていない場合があります。詳しくはお問い合わせください。

9/24～30は「結核・呼吸器感染症予防週間」

結核は過去の病気ではありません。このような症状がある場合、早めに医療機関を受診しましょう。
また、年に1度は健診を受けるようにしましょう。詳しくはお問い合わせください。



400ml献血にご協力を

場所	日時
イオン藤井寺 ショッピングセンター 1階ウェルカムひろば	①9月20日(金)・30日(月)
	10:00～12:00
	13:00～16:30
	②9月23日(月・祝)
	10:00～16:00

対象 18歳から69歳までの体重が50kg以上の方(男性は17歳から可)
※65歳以上の方は、60歳から64歳の間に献血経験がある方に限る。

被爆二世健康診断

対象 府内在住の被爆二世で、受診を希望する方
申込方法 9月2日(月)から10月31日(木)までに藤井寺保健所窓口で
※実父母どちらかの被爆者健康手帳の番号が必要です。
※健康診断の日時と場所は、申し込み後に本人に通知します。
問合先 藤井寺保健所
☎955・4181 ☎939・6479



問合先 藤井寺保健所地域保健課 ☎955・4181 ☎939・6479

けんこうガイド

このページで申込・問合先の記載がない場合の問合先
健康・医療連携課(2階⑤番窓口)
☎939・1112

結核住民検診 ～結核は早期発見が大切です～

日時 9月24日(火)
11時～11時30分 ※予約不要
受付場所 保健センター
対象 65歳以上で、胸部レントゲン撮影を受ける機会がない方
検査内容 胸部X線直接撮影
注意事項

- ①肺がん検診は結核検診も兼ねています。令和6年4月以降に市の肺がん検診を受けた方は、受診する必要はありません。
- ②当日は、金属・ボタンのついていない下着を着用してください。
- ③感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の規定により、65歳以上の方は健康診断の受診義務があります。(※肺がん検診や、特定健診などで胸部レントゲン撮影の機会がある場合は、この限りではありません)
※立位不可の方は事前にご相談ください。

※詳しくは健康・医療連携課(☎939・1112)にお問い合わせください。

健康相談

生活習慣病などの予防や改善に関する相談をお受けします。
電話相談 ☎939・1112
受付 月～金曜日(祝日を除く)
9時～17時30分
場所 健康・医療連携課(2階⑤番窓口)
申込方法 電話で